

36
王し三十七
聖徒伝 256

主への畏れと 恐れをもって

エレミヤ書 36章

燃やされた書簡

主の前で、身も心も打ち震えるような
体験をしたことがありますか？

今日のキーワードは、「おそれ」

主の御言葉に立ち続けるために

①主は御言葉を与えられる

1～15

②たとえ拒まれても

16～26

③御言葉は永遠に生き続ける

27～32



最後の王たち



①⑥ヨシヤ
8歳～(31年)



①⑦エホアハズ
23歳～(3ヶ月)

エジプトで死



①⑧エホヤキム
25歳～(11年)

故郷で死



①⑨エホヤキン
(エコンヤ)
18歳～(3ヶ月)

バビロンへ捕囚

.....



キリスト



①⑩ゼデキヤ
21歳～(11年)

バビロンで死



①主が御言葉を与えられる

エレミヤ書36章1～15節

ユダの荒野

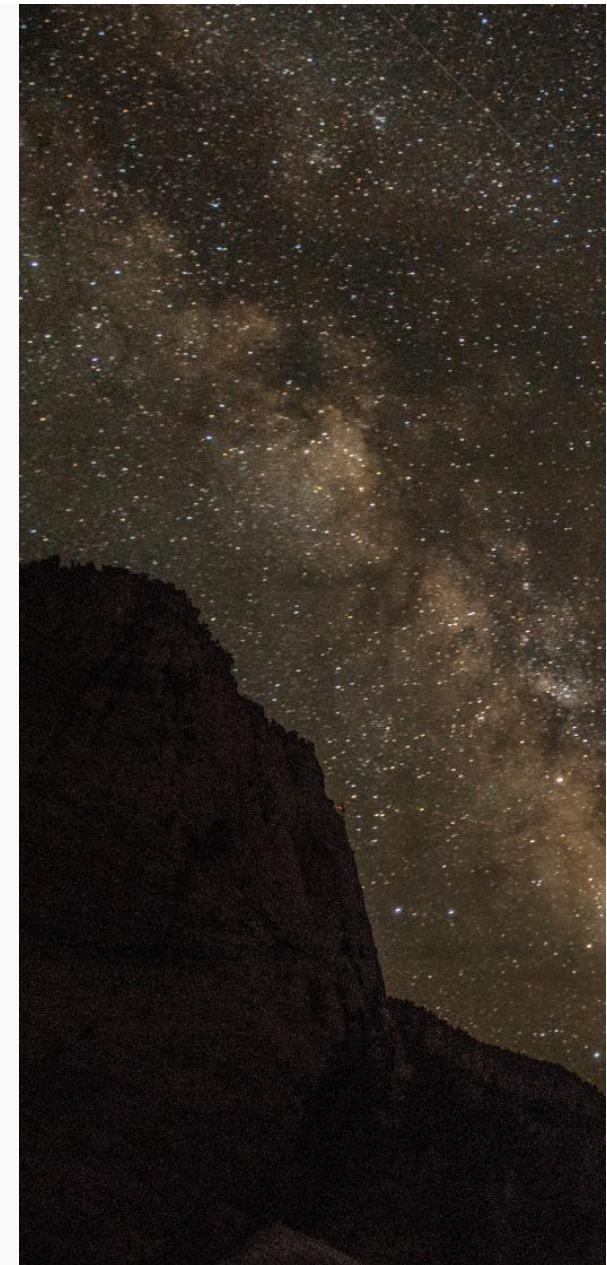
①主の言葉

預言の総集編 エレ36:1～2

ユダの王、ヨシヤの子エホヤキムの第四年に、
【主】からエレミヤに次のような**ことば**があった。

「あなたは巻物を取り、わたしがあなたに語った
日、すなわちヨシヤの時代から今日まで*、わた
しがイスラエルとユダとすべての国々について、
あなたに語った**ことば**をみな、それに書き記せ。

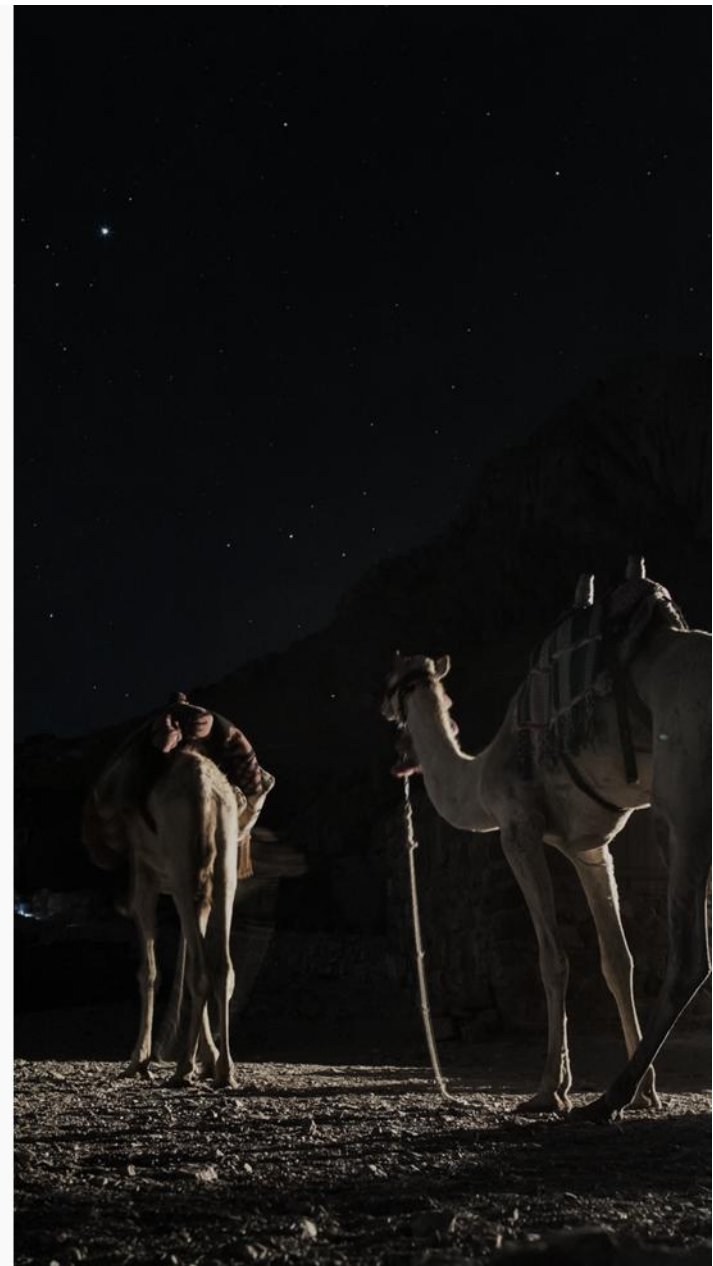
*22年間でエレミヤが告げたこと



①主の言葉 主の憐み エレ36:3

ユダの家は、わたしが彼らに下そうと思っているすべてののわざわいを聞いて、それぞれ悪の道から立ち返るかもしれない。そうすれば、わたしも、彼らの咎と罪を赦すことができる。」

■ 捕囚の裁きは確定しても、一人一人には悔い改めによる救いの道が残されている。



①主の言葉 預言の記述 エレ36:4

それでエレミヤは、ネリヤ*の子バルク*を呼んだ。バルクはエレミヤの口述にしたがって、彼に語られた【主】のことばを、ことごとく巻物に書き記した。

*“ヤハウエの灯火”

*“祝福された”

…エレミヤの友人、書記、忠実な従者
パウロにとってのテモテのような存在



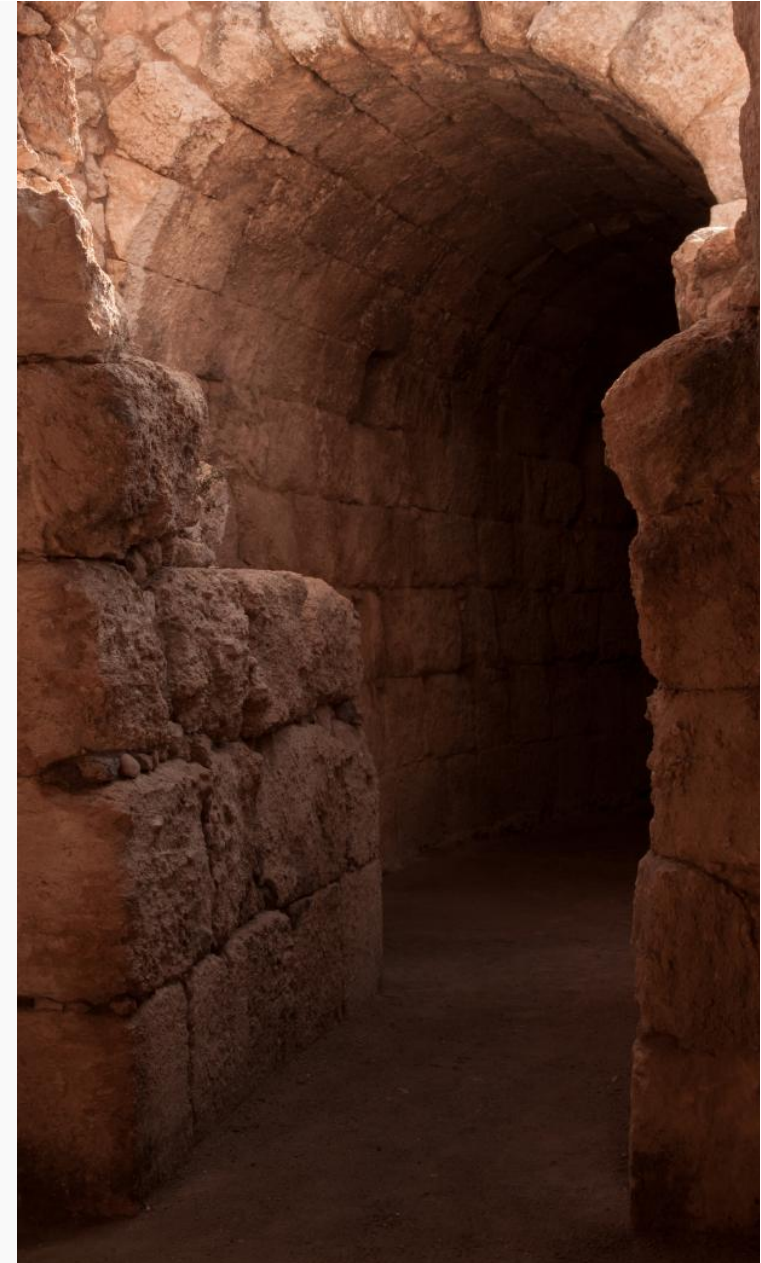
①主の言葉 断食の日に エレ36:5～6

エレミヤはバルクに命じた。「私は閉じ込められていて*、【主】の宮に行けない。

だから、あなたが行って、あなたが私の口述によって巻物に書き記した【主】のことばを、断食*の日に【主】の宮で民の耳に読み聞かせよ。また、町々から来るユダ全体の耳にもそれを読み聞かせよ。

*エホヤキムの時代にも幽閉の経験が!!

■民を悔い改めのしるしとして断食させ、主のみことばを告げよ。➡主の命令



①主の言葉 主の願い エレ36:7

そうすれば、【主】の前で彼らの嘆願が受け入れられ、それぞれ悪の道から立ち返るかもしれない。【主】がこの民に語られた怒りと憤りは大きいからだ。」

■ 何度拒まれても、かすかな希望をもって、御言葉を告げ続けるエレミヤ。

エレミヤの忍耐は、
主ご自身の忍耐



荒野の子鹿

①主の言葉 断食の布告 エレ36:8～9

そこでネリヤの子バルクは、すべて預言者エレミヤが命じたとおりに、【主】の宮で【主】のことばの書物を読んだ。

ユダの王、ヨシヤの子エホヤキムの第五年、第九の月、エルサレムのすべての民と、ユダの町々からエルサレムに来ているすべての民に、【主】の前での断食が布告された。



①主の言葉 主の宮で エレ36:10

そのときバルクは、【主】の宮で民全体に聞こえるように、その書物からエレミヤのことばを読んだ。そこは、【主】の宮の、新しい門の入り口付近の上庭にあった、書記シャファン*の子ゲマルヤ*の部屋であった。

*“荒野の小動物” …謙遜な人物?!

…ヨシヤ王の書記?!(II列22:3)

発見された律法の巻物を王に渡した

*“ヤハウエは成し遂げられた”



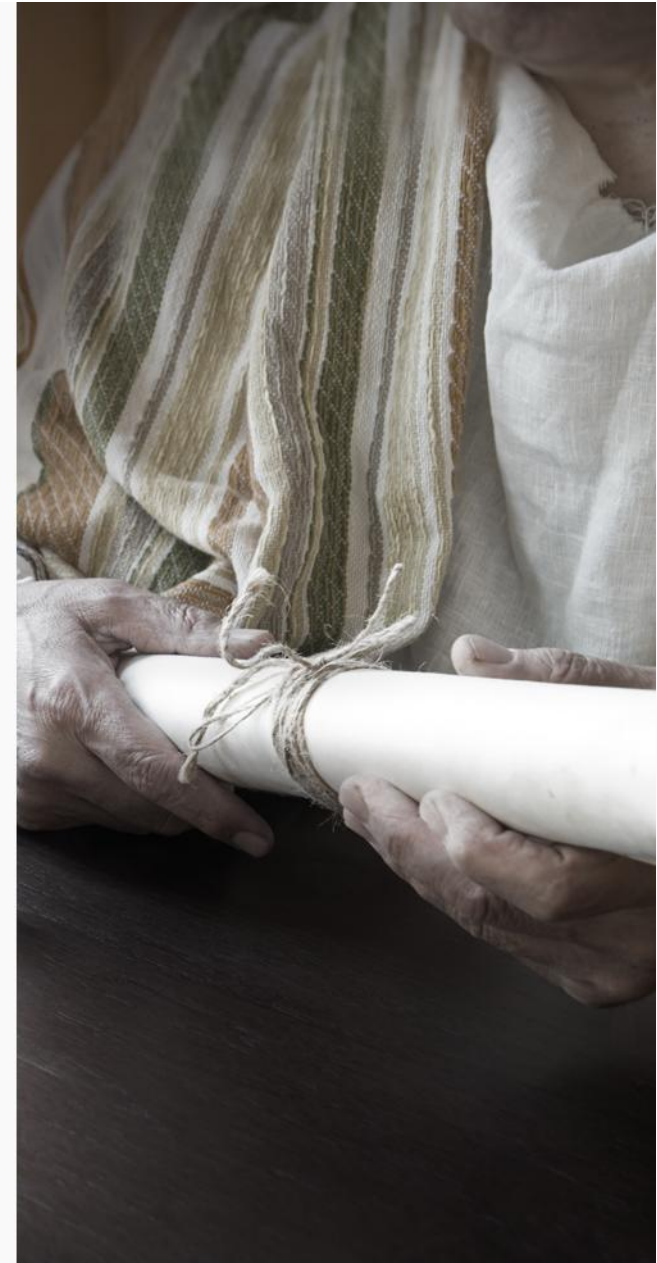
①主の言葉 首長たち エレ36:11~12

シャファンの子ゲマルヤの子ミカヤ*は、その書物にあるすべての【主】のことばを聞き、王宮にある書記の部屋に下ったが、見よ、そこには、すべての首長たちが座っていた。すなわち書記エリシャマ、シェマヤの子デラヤ、アクボルの子エルナタン、シャファンの子ゲマルヤ、ハナンヤの子ゼデキヤ、およびすべての首長たちである。

*“誰が神のようであろうか”

➔三代に渡って信仰を継承。忠実な書記。

■首長たちは、悔い改めて備えていた。



①主の言葉 首長たちの求め エレ36:13~14

ミカヤは、バルクがあの手紙を民に読んで聞かせたときに聞いた、すべてのことばを彼らに告げた。

すべての首長たちは、クシの子シエレムヤ*の子
ネタンヤ*の子ユディ*をバルクのもとに遣わして
言った。「あなたが民に読んで聞かせたあの手紙、
あれを手に持って来なさい。」そこで、ネリヤの
子バルクは、手紙を手に持って彼らのところへ
入って来た。

*“ヤハウエに報われる” * “ヤハウエから与えられた”
*イエフディア…“ユダヤの女”



①主の言葉 首長たちへ エレ36:15

彼らはバルクに言った。「さあ、座って、私たちにそれを読んで聞かせてくれ。」そこで、バルクは彼らに読んで聞かせた。

■悔い改めた首長たちは、捕囚先で、主の保護を受けただろう。

**首長たちは、悔い改めて
主の御言葉に耳を傾けた**



①主が御言葉を与えられる

■告げられていた神の警告 エレミヤ 1:14,16

「わざわざいが北から、

この地の全住民の上に降りかかる。

わたしは、この地の全住民の悪に対してことごとく
さばきを下す。

彼らがわたしを捨てて、ほかの神々に犠牲を供え、
自分の手で造った物を拝んだからだ」



②たとえ拒まれても

エレミヤ書46章16～26節

ユダの荒野

②王の拒絶 首長たちの恐れ エレ36:16~17

そのすべての**ことば**を聞いたとき、彼らはみな互いに恐れおののき、バルクに言った。「私たちは、これらの**ことば**をすべて、必ず王に告げなければならぬ。」

彼らはバルクに尋ねて言った。「さあ、あなたがこれらの**ことば**をすべて、どのようにして書き留めたのか、私たちに教えてくれ。エレミヤが口述した**ことば**を。」

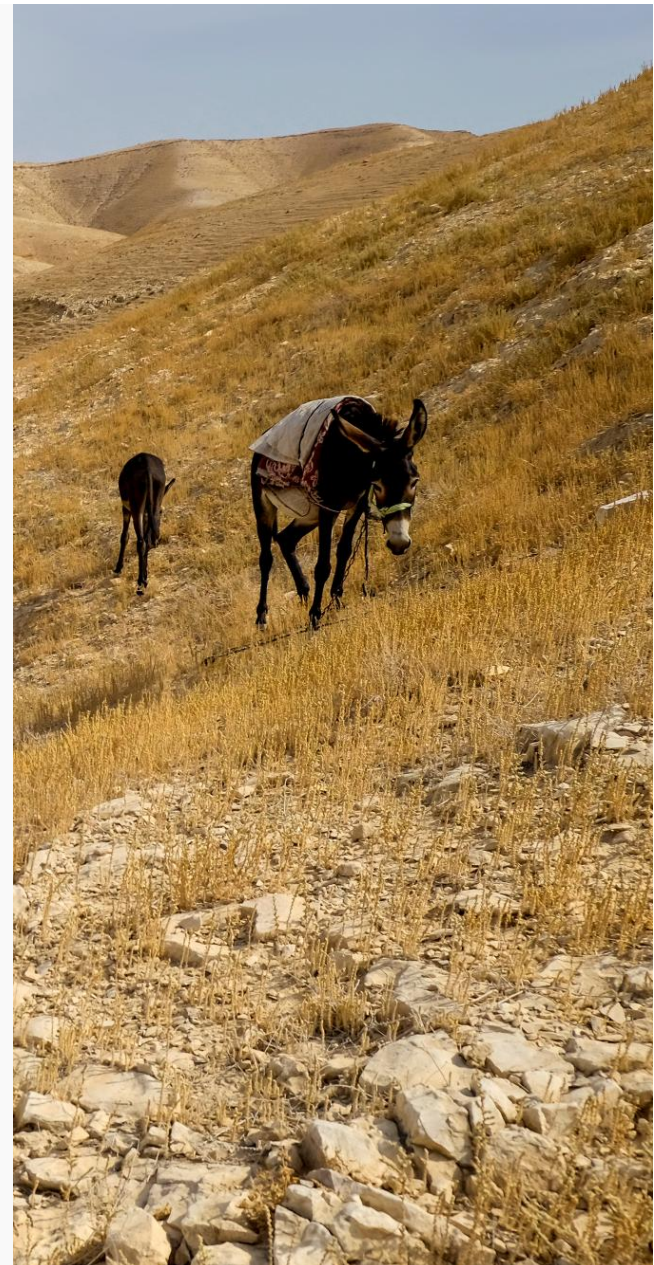


②王の拒絶 首長たちの懸念 エレ36:18~19

バルクは彼らに言った。「エレミヤがこれらのことばをすべて私に口述し、私は墨でこの書物に記しました。」

すると首長たちはバルクに言った。「行って、あなたもエレミヤも身を隠しなさい。あなたがたがどこにいるか、だれにも知られないようにしなさい。」

- 王に御告げを見せなければならないが、王は拒み、エレミヤたちを迫害するのでは？



②王の拒絶

王の前で エレ36:20～21

彼らは巻物を書記エリシャマの部屋に置き、王宮の庭にいる王のところに行って、このすべてのことを報告した。

王はユディに、その巻物を取りに行かせたので、彼はそれを書記エリシャマの部屋から取って来た。ユディはそれを、王と王の傍らに立つすべての首長たちに読んで聞かせた。



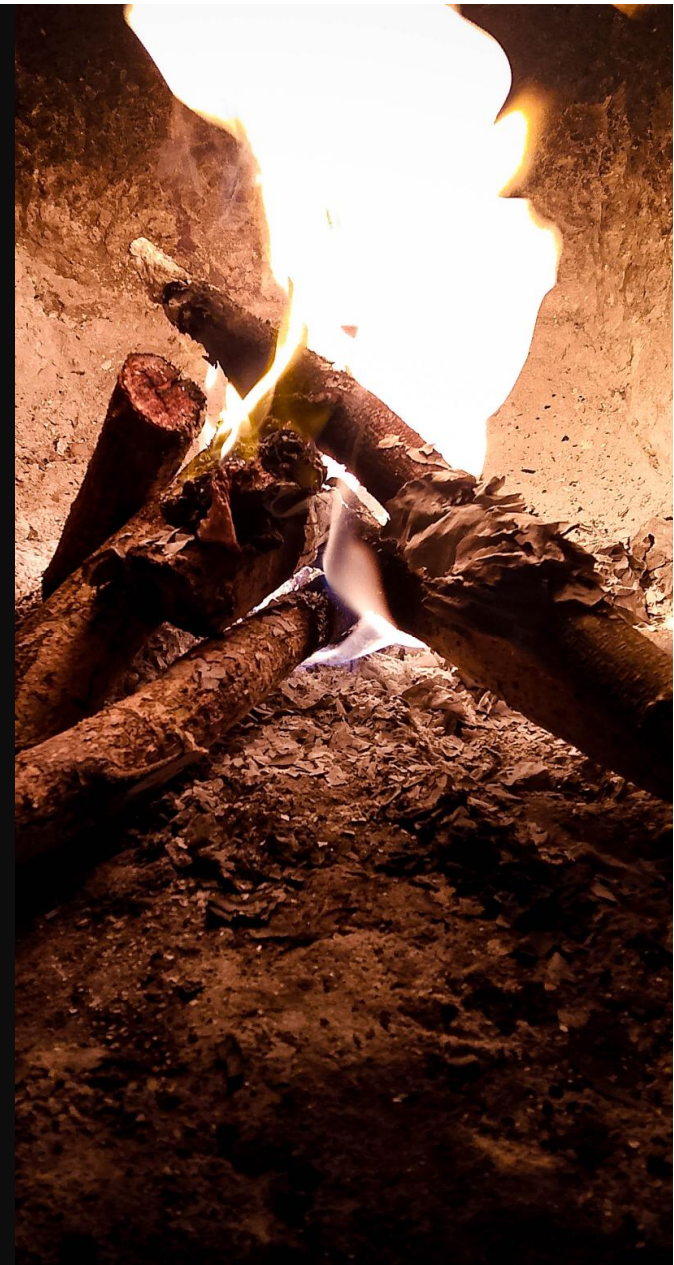
②王の拒絶 暖炉の火に エレ36:22～23

第九の月*であったので、王は冬の家の座*に着いていた。彼の前には暖炉の火が燃えていた。

ユディが三、四段を読むごとに、王は書記の小刀でそれを裂いては暖炉の火に投げ入れ、ついに、巻物をすべて暖炉の火で焼き尽くした。

*11月頃

*王の冬の別邸



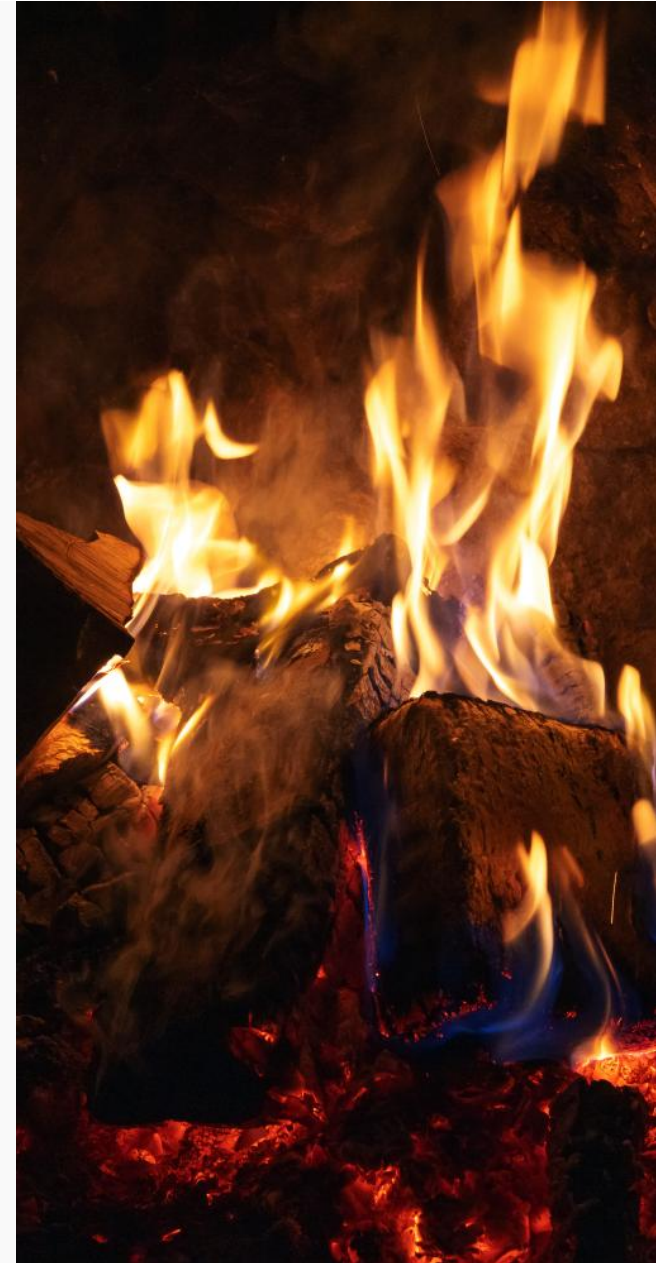
②王の拒絶 かたくなな王 エレ36:24~25

これらすべてのことばを聞いた王も、彼のすべての家来たちも、だれ一人恐れおののくことはなく、衣を引き裂くこともしなかった*。

エルナタンとデラヤとゲマルヤが、巻物を焼かないようにと王に懇願しても、王は聞き入れなかった。

*嘆いて悔い改める者は一人もいなかった。

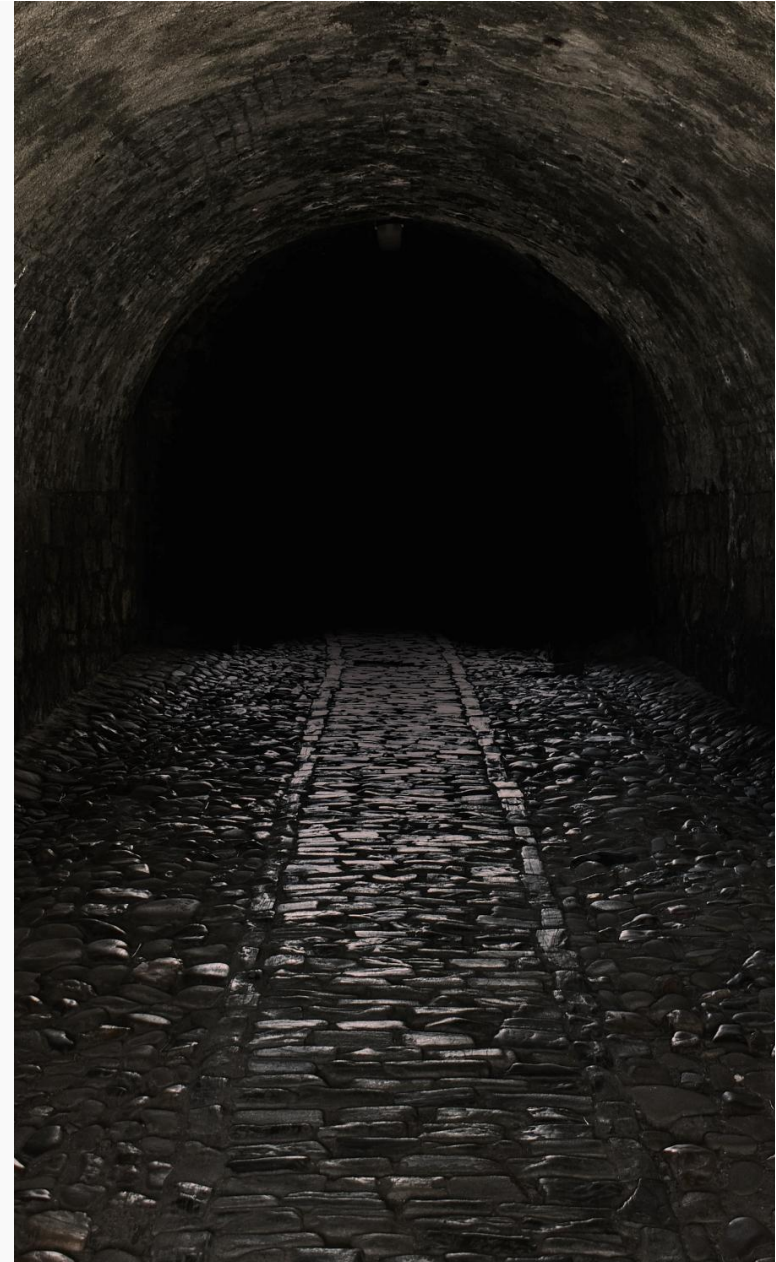
*臣下の命がけの懇願も、王は拒絶した。



②王の拒絶 主の守り エレ36:26

王は、王子エラフメエルと、アズリエルの子セラヤと、アブデエルの子シェレムヤに、書記バルクと預言者エレミヤを捕らえるように命じた。しかし、【主】は二人を隠された。

王は主の御告げを拒絶
エレミヤとバラクは主に守られた。



②たとえ拒まれても

■繰り返されてきた主の警告 エレミヤ9:15

「イスラエルの神、万軍の【主】はこう言われる。
見よ。わたしはこの都とすべての町に、わたしが
告げたすべてのわざわいをもたらす。
彼らが**うなじを固くする者**となって、わたしの
ことばに聞き従おうとしなかったからである。」



③御言葉は永遠に生き続ける

エレミヤ書36章27～32節

ユダの荒野

③永遠の御言葉 再びの御告げ 36:27~28

王が、あの巻物、バルクがエレミヤの口述で書き記したことばを焼いた後、エレミヤに次のような【主】のことばがあった。

「あなたは再びもう一つの巻物を取り、ユダの王エホヤキムが焼いた最初の巻物にあった最初のことばを、残らずそれに書き記せ。

■主が再記述を命令。聖霊が記述を支援。



③永遠の御言葉 再記述 36:28～29

「あなたは再びもう一つの巻物を取り、ユダの王エホヤキムが焼いた最初の巻物にあった最初のことばを、残らずそれに書き記せ。

ユダの王エホヤキムについてはこう言え。

【主】はこう言われる。あなたはこの巻物を焼いて言った。『あなたはなぜ、バビロンの王は必ず来てこの地を滅ぼし、ここから人も家畜も絶えさせる、と書いたのか』と。

■王は、滅びの預言を拒絶したが…。

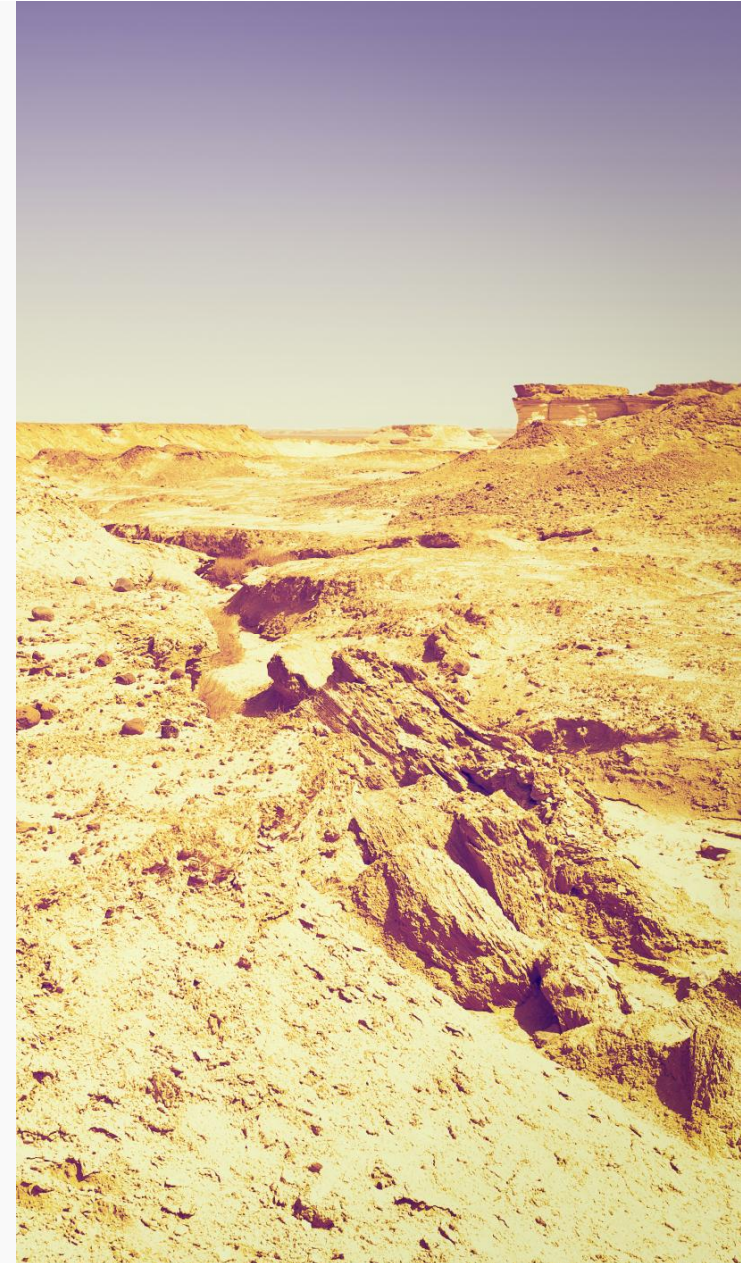


③永遠の御言葉 王の末路 36:30

それゆえ、【主】はユダの王エホヤキムについてこう言われる。エホヤキムには、ダビデの王座に就く者がいなくなり、彼の屍は捨てられて、昼は暑さに、夜は寒さにさらされる。

■ エホヤキムの治世にバビロニアの侵略開始。
息子エホヤキンの治世はわずか3ヶ月。

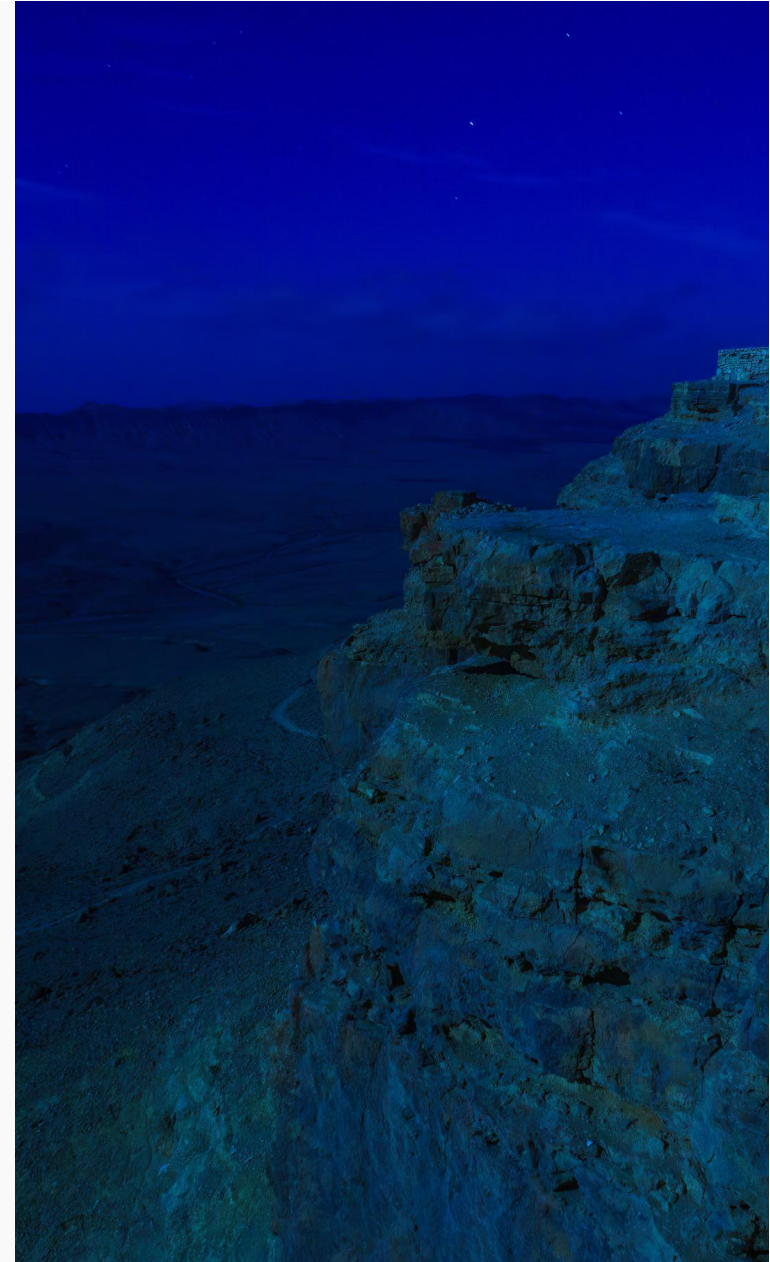
➡死ぬまで異国で虜囚の身に



③永遠の御言葉 下る災い 36:31

わたしは、彼とその子孫、その家来たちを、
彼らの咎のゆえに罰し、彼らとエルサレムの
住民とユダの人々に対して、わたしが告げた
が彼らが聞かなかった、あのすべてのわざわ
いをもたらす。」

- エホヤキムの上に、拒んだ裁きのすべてが
下される。

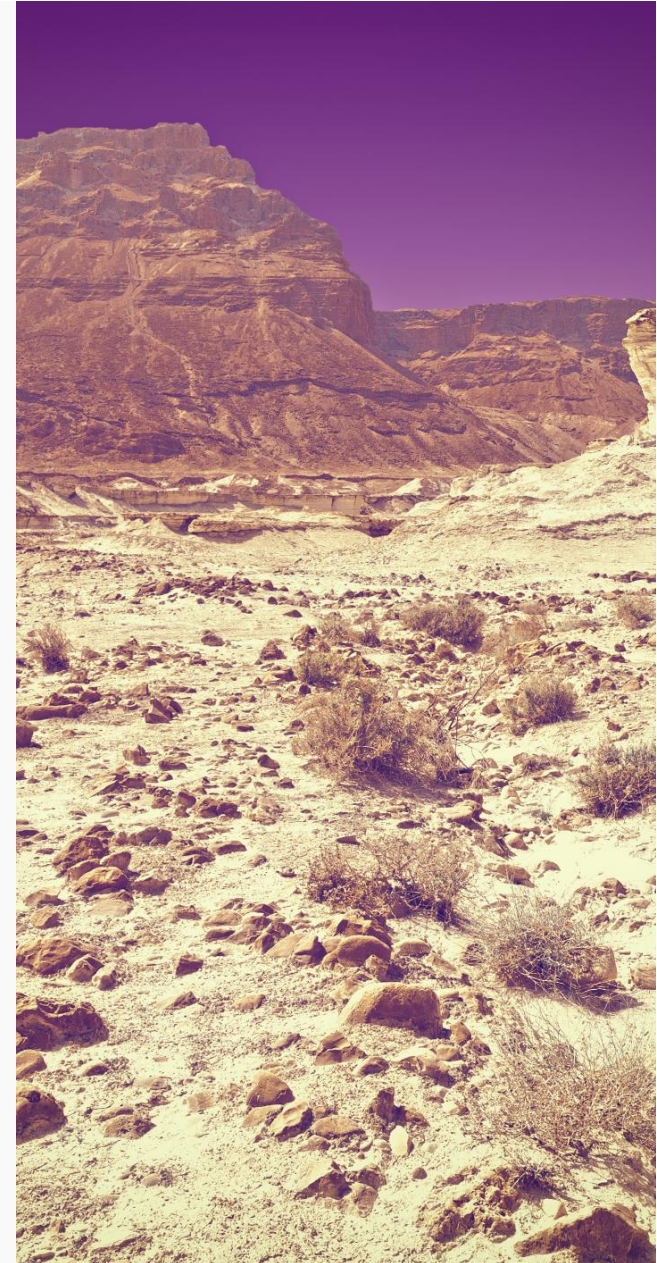


③永遠の御言葉 残された御告げ 36:32

エレミヤは、もう一つの巻物を取り、それをネリヤの子、書記バルクに与えた。彼はエレミヤの口述により、ユダの王エホヤキムが火で焼いたあの書物のことばを残らず書き記した。さらに同じような多くのことばもそれに書き加えた。

■ 火で燃しても、主の御言葉は消失しない。

主の御言葉は永遠に生き続ける



③御言葉は永遠に生き続ける

■ダビデが契約の箱を都にあげた時 | 歴代16:15~17

心に留めよ。**主の契約**をとこしえに。
命じられた**みことば**を、千代までも。
それは、アブラハムと結んだ契約。イサクへの誓い。
主はそれをヤコブへの定めとして立てられた。
イスラエルへの、**永遠の契約**として。



まとめと適用

主の御言葉に立ち続けるために

ユダの荒野

まとめ

主の御言葉に立ち続けるために

①主が御言葉を与えられる

…20年分の御言葉を告げた。
首長たちは耳を傾けた。

②たとえ拒まれても

…王は、御言葉をすべて燃やした。
エレミヤは命を狙われた。

③御言葉は永遠に生き続ける

…再度、すべてが記された。
エレミヤとバルクは守られた。
王には、裁きが告げられた。

御言葉は変わらない 問われるのは私たちの応答

適用

なぜ、拒んでしまうのか？

- ① 私たちが罪人だから … 「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、ロマ 3:23」
- ② 罪の性質があるから … 「わたしはこの民を見た。これは実に、うなじを固くする民だ。出 32:9」
- ③ 神へのおそれがないから … 「彼の目の前には神に対する恐れがない。詩 36:1」

神へのおそれがないのが、罪人

適用

旧約聖書における「おそれ」とは？

彼らはモーセに言った。「あなたが私たちに語ってください。私たちは聞き従います。しかし、神が私たちにお語りになりませんように。さもないと、私たちは死んでしまいます。」

それでモーセは民に言った。「**恐れる***ことはありません。神が来られたのは、あなたがたを試みるためです。これは、あなたがたが罪に陥らないよう、神への**恐れ***があなたがたに生じるためです。(出20:19~20 シナイ山・律法授与)」

*動詞(ヤライ)、名詞(イラー)の違いはあるが、言葉は同じ。

■聖書の「おそれ」は、恐れと畏れ。両方の意味を含んでいる。

適用

新約聖書における「おそれ」とは？

「彼らはいつも、使徒たちの教えを守り、交わりを持ち、パンを裂き、祈りをしていた。すべての人に**恐れ**が生じ、使徒たちによって多くの不思議とするしが行われていた。使2:42～43」

➔教会の信仰の根底にも、主への「**おそれ**」が!!

「イエスが湖の上を歩いておられるのを見た弟子たちは「あれは幽霊だ」と言っておびえ、**恐ろしさ**のあまり叫んだ。マタ 14:26」

■ 恐れと畏れ、は、分かちがたい。新約も同様…フォボス
例) 自分自身の主と出会った経験から

①主への畏れがない者は、平然と主に逆らう。

②主への恐れがない者は、主を侮る。

…主の裁き、刈り取りを侮る。

主の前での約束を軽んじる。成長はない。

③主への畏れと恐れがある者は、主に従い歩む。

…主の約束への信頼は、主への**おそれ**から生まれる

主への畏れと恐れをもって歩むのが真の信仰者

適用

いつくしみ深く、厳しい、主をおそれよう

■異邦人信者への戒め ロマ11:20~22

そのとおりです。彼らは不信仰によって折られましたが、あなたは信仰によって立っています。思い上がることなく、むしろ**恐れなさい**。

もし神が本来の枝を惜しまなかったとすれば、あなたをも惜しまれないでしょう。

ですから見なさい、神の**いつくしみ**と**厳しさ**を。倒れた者の上にあるのは厳しさですが、あなたの上にあるのは神のいつくしみです。ただし、あなたがそのいつくしみの中にとどまっていればであって、そうでなければ、あなたも切り取られます。

★ 主への畏れと恐れをもって ★

- 人間的な愛に引きずられるキリスト教界。神へのおそれは？
権威へのおそれがない。神へのおそれがない。その恐ろしさ。
- イスラエルへの歴史を通して学ぶのは、神の約束の確かさ。
憐れみ深い赦しの神は、罪を見過ごしにされることもない。
- 受難のメシアは、私たちの罪のため、十字架で死なれ、復活。
再臨のメシアは、全地を裁き、私たちに栄光の体を与え、
神の国を建てられる。

義の愛の神、罪を赦し、裁かれる主イエスを宣べ伝えよう

てん とう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。

わたし かみ みこ しゅ
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、

わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、

はか ほうむ
②墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。

しゅ えいこう すがた ぜんち さば ぬし こ
主イエスは、栄光の姿で、全地の裁き主として来られます。

あく ほろ かみ くに わたし まね い
すべての悪を滅ぼされ、神の国に、私たちを招き入れられます。

しゅ えいえん やくそく しんらい つか
主へのおそれ、永遠の約束への信頼をもって遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」